

## 第 7 期 第 4 回 武蔵野市図書館運営委員会 議事要録

日 時 平成 28 年 5 月 30 日 (月) 17 時 30 分開会 18 時 50 閉会

場 所 中央図書館 3 階視聴覚ホール

出席者 委員 7 名

船崎委員長、毛利委員長職務代理、伊野委員、桂委員、瀬戸委員、  
松山委員、柳田委員

竹内教育部長

事務局 8 名

養田図書館長、奥野（公財）武蔵野生涯学習振興事業団派遣副参  
事（武蔵野プレイス副館長）、前田課長補佐、秋庭係長、迫吉祥  
寺図書館長、盛田武蔵野プレイス課長補佐、森本課長補佐、小林  
主任

傍 聴 なし

内 容 1 議事

(1) 前回議事録の確認について

(2) 図書館の運営について

2 その他

### 1. 開会

#### 【事務局】

定刻となったので開会する。

教育部長よりごあいさつ申し上げます。

#### 【教育部長】

今回は図書館事業評価を計画の中間としてご議論いただく。また吉祥寺  
図書館アンケートを踏まえ、改修等について前期の委員会であり方をご議  
論いただいたが、それを微修正する必要があるのか、という点についても  
ご議論を頂きたい。

## 2. 議事

### 【司会】

次第に従い、議事に入りたい。進行を委員長にお願いする。

### 【委員長】

前回議事録の確認について。事務局より説明を。

### ★議題1 前回議事録の確認について

#### 【図書館長】

資料1をお願いしたい。

事前にお送りしているが、前回議論の内容を要録として取りまとめた。今回確認いただき承認いただければ、ホームページで公開したい。

#### 【委員長】

本件について、質疑を行う。

何かあったらご意見ご質問を。

(特になし)

#### 【委員長】

それでは、この内容で協議内容として公開することとしたい。

引き続き「平成27年度図書館事業評価について」を議題とする。事務局より説明を。

### ★議題2 「平成27年度図書館事業評価について」

#### 【図書館長】

資料2-1、2-2をお願いしたい。

はじめに内容について、前回、今回の審議内容として、中長期目標を踏まえた28年度単年度目標設定を審議いただく旨説明したが、28年度目標設定は27年度評価を反映したものとなるため、27年度評価について今回審議頂くこととなった。説明と違ったことについてお詫び申し上げる。

今回は事務局作成のたたき台をもとに議論頂き、後日まとめを作成するので、それを次回の委員会で議論・確定を行っていただき、公表の手続きに移る流れを想定している。

昨年度設定した27年度目標について1年間の取組内容、内部的な評価を記載したものが今回の資料である。資料2-1は事業内容について評価を行う重点目標、資料2-2は図書館の基本的機能維持項目で、取組が一

定水準を保っているかを主眼に確認するその他目標である。

重点目標より説明する。

表中の内部評価が事務局における評価、関連情報を表している。

項目が多岐にわたるので、主に内部評価がB、Cであったものを中心に説明する。

2ページをお願いしたい。

NO5 学校との連携協力について学校とのスケジュール調整の不調から、実施回数が伸び悩んだ。

後期中長期目標にも項目があり、連携推進の必要性を認識している。今後も学校との協議を継続するため調整を行っていく。昨年度、回数自体は少ないが、第四小の学校図書館との協力等、図書館側も良い経験となったと考えている。

3ページをお願いしたい。

NO7 3館で取り組む企画でYA企画について、各館において利用者が本に親しめる環境整備として企画展示を実施したが、担当者の業務の理由等で合同企画は組めなかった。

合同企画の実施により事務の効率化が図れる点も踏まえ、事務の在り方の見直しを行っていく。

4ページをお願いしたい。

NO9 高齢者施設への貸出、宅配サービスについて、施設への団体貸出は継続して実施中で、実施中の桜堤ケアハウス以外について、ニーズがあれば対応する。宅配サービスについては近隣市でもあまり展開事例がないためニーズ等も精査し、必要性についても引き続き検討する。

重点中長期目標については以上である。

続いて、その他中長期目標に移る。資料2-2をお願いしたい。

その他目標については取組が一定程度のレベルを満たしているかについてのチェックを主眼としているため、具体的に目標設定、評価を行っておらず、取組結果について記載している。

1ページをお願いしたい。

NO4 職員防犯訓練の実施について、昨年度は繁忙につき実施が

できなかったが、防災訓練は実施している。今年度は適切に実施したい。

3 ページをお願いしたい。

NO11「武蔵野市に関するレファレンス事例集の作成」について、新規事例は繁忙につき作成できなかった。今年度は適切に実施したい。

主な説明は以上である。

**【委員長】**

本件について、質疑を行う。

何かあったら、意見、質問を。

**【委員】**

重点目標2 アンケート内容の工夫について、工夫の内容はどのようなものだったかについて伺いたい。アンケートは継続して行っているか。

**【図書館長】**

アンケートは継続して行っている。

目標にある安心感について、以前議論になったが75%を達成するのに中間評価を無くし、結果をはっきりさせることで評価が明確となり、数値を達成したと考えている。取組結果に入っていないのはアンケート自体が26年度実施のものであるためで、27年度に実施した吉祥寺図書館アンケートでは安心感に関する項目の設問がなかった。

**【委員】**

館内OPACについて触れられているが、館内もウェブも新しくなった。取組結果にはOPACが触れられていないが、返却機も含め、どのように評価されているか。

**【事務局】**

もともと問題があったのは返却機、予約棚で、それについて改善したことを記載した。OPACについては問題がなかった認識なので、特に記載していない。今回の入替でPCに慣れている人とそうでない人に対してタッチパネル版、ブラウザ版を用意する取り組みを行っている。今後、要望等を取り入れて改善していきたい。

**【委員】**

ユーザーとしても良くなったと思っている。

**【事務局】**

いろいろご意見はあるが、出来るところは改善している。すぐできないものもあるが、ご意見を踏まえて検討していきたい。

**【委員】**

5 学校との連携について、学校図書館で足りないものは連携資料として提供してもらっている。学校はやりたくても手が足りない。保護者や色々な団体に読み聞かせをしてもらったり、来てもらったりなど学校には枠があり、それ以外に図書館の方に来てもらうのは現実的に難しい現状がある。昨年度、第四小での取り組みに関わってもらったことを水平展開できると少しは開拓されるのかなと思う。備考欄に研究校と連携できたので、それを他校に広げていきたいという点を追加すると良い。

**【委員】**

第四小との連携とはどのような内容か。

**【事務局】**

基本的には資料の提供である。第四小の図書館サポーターを介し、資料請求が来て図書館で対応する流れだが、密に連絡が取れ良い取り組みができた。サポーターはアルバイトだが、いい仕事をしてもらっている。

**【委員】**

図書室には司書がいるということではなく、サポーターがいるということか。

**【事務局】**

司書資格を持っている人もいると思うが、メインで業務に当たっているのはサポーターである

**【教育部長】**

週5日、35時間稼働している。

【委員】

年3回サポーターの連絡会があり、図書館職員にも来て情報提供してもらっている。それを広げると良い。

【委員】

学校図書館向けのブックトークについて、対象は誰になるか。

【事務局】

ひとつは中学生である。中学生が小学校に行って読み聞かせをするので、本の紹介を兼ねて行っている。もうひとつは子どもで、ブックトークなので小学校1年生向けのパンフレットを作っている。たくさんの学校でやりたいが、学校のほうのスケジュールが難しく1校しかできなかった。

【委員】

学校の中で保護者はボランティアで朝読の時間に入っているが、それぞれ完全に任されており、横のつながりがないので、学校に入って携わっている担当者向け、または保護者向けの講座などがあったらよい。

【事務局】

昨年度はなかったが学校に呼んでいただいて、何回かそういう講座をやったこともある。

【委員】

3年生の読書動機づけ指導の際に、全校に呼びかけると関心のある保護者に来ていただけることがある。

【事務局】

要望があれば説明をしているが、講座という形では昨年度はやっていない。

【委員】

読み聞かせとはどのようなものか。

【事務局】

絵本を使っている。

【委員】

小さくて読めないから絵本ということか。

【事務局】

大きくなっても読み聞かせは効果がある。絵のない本で読み聞かせをしたりもするが、母親がやる場合は絵があったほうがやりやすい。

【委員】

きちんと皆、聞いているのか。

【事務局】

子どもたちは皆、よく聞いている。

【委員】

経験がないので分からないが、読書は自分でするものではと思っていた。

【事務局】

読書の最初のきっかけであり、親子の読み聞かせはコミュニケーションの一つの形という側面もある。学校での読み聞かせは読書のきっかけや大勢で聴いて、共感するとか、そういう意味もある。

【委員】

きっかけというのは分かる。メディアが発達して本を読むというのはなくなってきたと思うので。

【事務局】

読み聞かせは地味だが、子どもはよく聞いてくれる。そういうことがきっかけとなって図書館に来てくれるようになるとよい

【委員】

先ほどの保護者向けに、という取り組みはすごく良いと思う。学校に地域の方が来てというコミュニティができているのは分かるので、そこに図書館のアドバイスが入ると、間接的にでも支援しているという形ができると思う。期待している。

また、数値的な部分で8のレファレンス問題について事例システムに入力し共有、とあるが件数は何件か。

【事務局】

前の図書館システムが入った時に研修の問題を蓄積するとともに、カウンターで受けたものでも特徴的なものを加えていっているので、はっきりとした数字が手元にないが、毎年少しずつ増加している。

【委員】

感覚として毎年何個ということでも、数字で追えると次の評価にもつながるのでお願いしたい

【委員】

レファレンス事例システムについて、レファレンス協同サービスには武蔵野市は入っていないのか

【事務局】

入っていない。

【委員】

入会の予定はないか。入会は課題ということか。

【事務局】

その通りである

【委員】

11の武蔵野市に関するレファレンス事例集の更新について、以前から思っているのは「回答がこの資料にあります」で終わっている。多くの図書館の事例集では途中のプロセスもある。あえて書いていないのかもしれないが、レファレンスを出すほうから見ると、レファレンスを出すところという回答が得られる、というイメージができ、使えるものと認識され広報効果もあるのではないか。訳があって載せていないのか。

【事務局】

武蔵野市に関する事例集はキーワード別に14項目あるが、代表的な問題や資料の案内のみ載せている状況である。ストレートによく聞かれる武蔵野市に関する事で、図書館にある資料でここに載っている、というのを素直に出すつくりとなっているのが現状である。

**【委員】**

14の障害者サービスが注目とされていて、デイジーなど機器の準備であるとか、しおりのようなものを作るなどされているが、特に学習障害などマルチメディアデイジーのようなものも整っていると思う。それらのものについて利用状況を教えてほしい。

**【事務局】**

30年前から音訳ということでやっており、当時はテープ、今はデイジーとなっている。昔は自分で作ったものを使っていたが、今は全国的に貸し出したり、借りたりしており増えている。マルチメディアデイジーはこれからで、6月から庁内研修を行う。2～3件の問い合わせもあるが、実際の利用はこれからなので対象数は分からない。

**【図書館長】**

27年度のデイジーの貸出は1,428本で主に視覚障害者用である。今後マルチメディアデイジー貸し出しを行うにあたって登録が必要で、学習障害の対象者は必ずしも手帳を持っていないので、登録という問題もある。

**【委員長】**

他にないか。

(これ以上の意見なし。)

それでは大体意見が出たようなので、事務局にまとめをお願いする。次回の委員会で修正したものについて再度議論し、委員会としての意見を固め、公表の手続きに移りたい。

予定された議事については以上である。

引き続き、報告事項に移る。事務局より説明を。

**★報告事項(1)**

「図書館基本計画実施計画 後期中長期目標について」

**【図書館長】**

資料3をお願いしたい。

前々回、前回でご議論いただいた図書館基本計画に基づく中長期目標について中間年度を経過したため、前期の評価を踏まえ図書館実施のサービ

ス等について後期の目標設定を行うものである。委員会の議論を踏まえ委員長預かりとなっていたが、別紙のとおり決定した。

説明は以上である。

**【委員長】**

本件について、質疑を行う。

何かあったら意見、質問を。

**【委員長職務代理】**

この目標の評価は4年後と考えてよいか。

**【図書館長】**

ご指摘のとおりである。

**【委員長】**

他に無ければ次に移る。

(意見なし。)

次の報告事項を。

**★報告事項(2)**

「吉祥寺図書館の在り方についての市民意見調査について」

**【図書館長】**

資料4をお願いしたい。

前回概要を説明したが、昨年まとめた吉祥寺図書館の在り方検討報告について、28年度予算に吉祥寺図書館リニューアル計画として予算要求を行うとともに、ニーズの把握等を目的として吉祥寺図書館のあり方について市民意見聴取を行った。意見聴取方法はアンケートで3月1日から15日、吉祥寺図書館でアンケート票配布に加え、ホームページに掲載し、直接来館される方以外の意見も採れる形式とした。

結果として来館者を中心として300件程度のご意見が寄せられ、数的には少ないが、普段利用しない方からもご意見を頂けた。また、アンケートの実施にあたり報告書は閲覧配布を行い、HPにも掲示した。

回答者属性は女性が多かったものの、大きな差は見られなかった。

利用形態は1人利用が圧倒的に多い。一定程度親子での利用も見られた。

回答の年代は図書館の体感的なメインユーザーとしては高齢男性と感じ

ているが、回答は 20 代から 80 代まで年代的には万遍なく回答いただき、利用者としては幅広いということが分かった。実際の滞在時間が違うので、比較的年齢層の高い男性が多いと思ってしまうが、実際は偏りが無いことが分かった。

職業について、職業有り無しがそれぞれ半数であった。

住まいについて吉祥寺図書館管轄の東地区が過半数を占めた。吉祥寺近隣区市である杉並、練馬、三鷹を足すと 3 割超と近隣も多かった。対して市内の中央図書館、プレイスの周辺の方はあまり使っておらず、3 館構想が機能していると考えている。

登録について利用登録可能な方が 9 割超であったことから、登録可能地域以外の利用が少ない。在り方検討で示した来街者の取り組みが新しい課題として考えられる。ここで言う来街者は資格の有無にかかわらず、たまたま吉祥寺に来た人などで、新たな層として考えている。

次に図書館の利用状況として、月 2 ～ 3 日が最大で 60.7% であった。これは本の貸出期間（2 週間）とリンクしていると想定されるが、それ以外にほとんど毎日、週 2 日以上利用する方が 35% 程度いた。以上を足すと約 9 割で、定期的に利用する方が多いということが分かった。

これ以降の質問は複数回答としているので、棒グラフで示している。回答の合計は回答者数を超えることがある

利用する・したいサービスは本を読む、借りるが多かった。加えて、調べもの、勉強等の利用が一定程度見受けられた。イベントに参加する、は回答数が少なかった。

利用したい時間帯について午前中、午後早い時間の希望が多かった。18 時以降の利用希望は 1 / 4 程度で、20 時以降についても低くなっているが、18 時～20 時のみを選んだ方は 5% 程度、20 時以降のみを選んだ方は 1.7% であり、ニーズとしては低かった。

利用したい曜日について平日の希望が多いが、土日を足すと過半数を超える。

リニューアル後のサービスについて、在り方検討でサービスを提案した中で地元密着のまち情報について、他のものに比べのべ回答数が最も多かった。また回答なしも最も少なかったことから、情報に興味を持っている傾向が見受けられた。その中でもまち情報（人・お店）が最も多かったが、他も僅差だった。今後関係機関とも連携し、本を切り口とした情報提供を行っていきたい。

子どもと保護者向けサービスについて回答なしが 2 番目に多いが、のべ回答数も 2 番目に多かった。このことから特定層には強いニーズがあると

思われる。現状、来館層に子連れ層がそれほど多くないことが回答なしが多かった理由と思われるが、子連れでも使いやすい施設整備と気軽に参加できるイベント開催が僅差であった。

高齢者向けサービスについて、これも回答なしが比較的多い設問であった。健康に関する情報提供・イベント開催と気軽に参加できるイベント開催が僅差だった。イベントなどへのボランティア参加についても比較的回答があった。

ビジネスパーソン向けサービス提供について、これも回答なしが多かった。回答のうち土日祝日の開館延長希望が多い。これに平日も合わせた開館時間延長が多かった。起業・経営に関する情報提供は少なかったが、吉祥寺図書館では、例えばPCスキルに関するものなどの要望が多く、吉祥寺図書館で行うべきビジネス支援の方法は、そのような方向なのかと感じている。

青少年サービスについて回答なしが最多であった。内容は学習スペースの希望が最多であった。その他は全体の2割程度の回答であった。

新たに欲しい機能についての質問である。本の充実、閲覧席の増加が比較的高い基本的機能である本雑誌の合計が3割超であり、データベースを加えたとのべ回答数の4割に近づくので、資料の充実が図書館にとっては大事だと考えられているようである。また、これまでの設問に比べ回答なしが少なく、設備改善に希望を持っている傾向が見受けられた。デジタル環境の整備としてwi-fiについて聞いているが、思ったよりも回答数は多くなかった。資料、データベースの充実以外の館内環境充実に対する要望（快適環境提供、便利な設備設置、閲覧席の増加、wi-fi環境整備）を総合すると5割超となった。館内環境改善の余地があると考える人が一定数いた。図書館機能に直接の関係がない環境配慮は少なかった。

自由記入欄について、施設・設備に関することの中では閲覧席、勉強スペース、トイレ改善、児童コーナー充実、カフェ設置などの要望があった。

図書館資料については新刊書少ないという意見と、たくさん入れるのはどうかという相反する意見に分かれた。

図書館サービスに関することについて、貸出冊数、貸出期間、予約冊数の増の要望、開館時間の延長に関するものが多かった。

また、このアンケートとは別に関係団体にヒアリングを行ったので報告する。

吉祥寺本町コミュニティ協議会委員長、役員にご意見を伺った。

駅周辺は子どもの居場所が少ない地域なので、子どもがのびのびと過ごせる空間が貴重で、吉祥寺図書館が施設規模に比べ児童コーナーが広いの

はそのような理由からであるとのこと。本町コミセンでは毎日図書館の場所を聞かれるので、一定の集客が出来るにぎわい創出の力があると感じているとのこと。また、2階の集会室稼働が低いこと、工事期間中の来館者の対応を心配していること。その他、期間中にも予約資料の受け取りができないか、資料の返却についてご意見があった。

続いて環境浄化審議委員会よりご意見を伺った。こちらも設立経緯をよく知る方である。

吉祥寺図書館設立の経緯として、施設開設時には図書館が賑わいに貢献するという思考がなく、平日でも人が来る図書館となつて良かったと思っているとのこと。集会室稼働が低い点、ハイパーローカルは是非発信してほしいと思っている点、ビジネス支援として図書館の存在は書店にとって決してマイナスではなく、予約待ちが多ければ書店での購入につながるので、相互に補完するものであること、子どもと保護者について大きな児童スペース、それが見れる大きな窓は、のびのびと児童が居られる場所という意味合いがあったとのこと。シニアに関しては本の配架や修理、明確な目的があったほうが地域に合っているのではないか。中高生は勉強場所がほしいので、使用しないときには集会室を開放したほうがいいとのことご意見であった。施設改修に関して自動貸出機、予約棚等がなくプライバシー面で弱いため、整備して他館並みにしてほしいとのことであった。雑誌コーナーについて、現在のソファでなく椅子にして席数を増やしたほうが良い。施設整備の際にテナントビルや広場でなく、図書館を作ったのは地域の願いであり矜持を示したものである。実際、利用者にとってはあり方報告にある直営でも指定管理でも図書館の役割、機能が果たせばいい。しっかり説明すればいいと思うとのことであった。

以上のおり、様々なご意見を頂いた。

説明は以上である。

#### 【委員長】

本件について、質疑を行う。

何かあったら意見、質問を。

#### 【委員】

アンケートについて、ただ集計しただけなので、どういう年齢層がどういう回答をしたのかというのが大事である。若い人たちが回答したなら学習スペース提供の要望が多くなるように、すべてを平らにしたらこのように青少年サービスにはあまり興味がないということになるので留意すべき

であり、属性に応じた回答がどうなっているのかを示したほうが良い。青少年を増やしたければそういう人たちがどういう回答をしているかであるし、シニアについてもそうである。

属性とのリンクが薄く、数を集計しただけでは観点が薄れるので、やみくもにクロスする必要はなく難しいが、ある程度絞って分かりやすく示してほしい。

#### 【図書館長】

クロス集計も行っているので、かなりボリュームが多くなるが今後お示ししたい。

#### 【委員】

アンケート回答方法について、今回は煩雑だったので、システムで出来るようにしてほしい。今回の方法でもこれだけ回答いただいたのは嬉しいことではある。

#### 【事務局】

システムで今後対応可能なように、現在カスタマイズ中である。

#### 【委員長】

他に無ければ次に移る。

(意見なし。)

続いてその他を。

### 3. その他

#### 【委員長】

続いてその他で、何かあるか。

#### 【武蔵野プレイス副館長】

このたび「図書館に行こう」という内容でムック本が発行された。その中に武蔵野プレイスが取り上げられている。1度は訪れたい図書館No.1ということで取り上げられている。

次にプレイスフェスタのお知らせである。例年12月に行っているが、7月で開館5周年となるため7月に実施する。イベントをいろいろ打っているのでパンフレットが完成次第お知らせしたい。記念シンポジウムを7月24日に開催する。登壇者はモデレーターとして長田謙一氏（名古屋芸

術大学図書館長）、岡本真氏（アカデミックリソースガイド代表）、紫牟田伸子氏（プロジェクトエディター）、吉田右子氏（筑波大学図書館情報メディア系教員）、プレイス館長の5名を予定しているので申込み希望の場合はお申し付けいただきたい。また、フェスタではおすすり本として市民の方にも本をご紹介いただいているところだが、委員の皆さまでもご協力いただける場合は、事務局あてにお送りいただきたい。

**【委員長】**

その他、何かあるか。

（なし）

**【事務局】**

次回日程についてお諮りしたい。

内容は本日の議論を踏まえた修正版と、28年度の目標案についてご議論を頂く予定である。日程は7月末～8月の日程で開催したい。時間は17時30分開始で場所は吉祥寺図書館を考えているがいかがか。

**【委員長】**

それでは8月1日17時半から吉祥寺図書館集会室で開催とする。

**【委員長】**

全体を通じて何か意見・質問等はあるか。

（なし）

**【事務局】**

以上で第4回図書館運営委員会を終了する。